

東証プライム・名証プレミア

証券コード：6134

2022年3月期 株式会社 FUJI 決算説明会資料

2022年5月



FUJI CORPORATION

目次

- ◆ 1. 2022年3月期 決算の概要
- ◆ 2. 2023年3月期 業績予想
- ◆ 3. トピックス



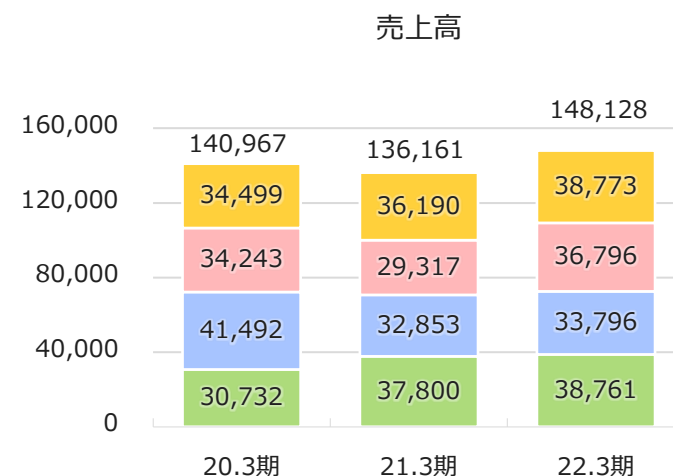
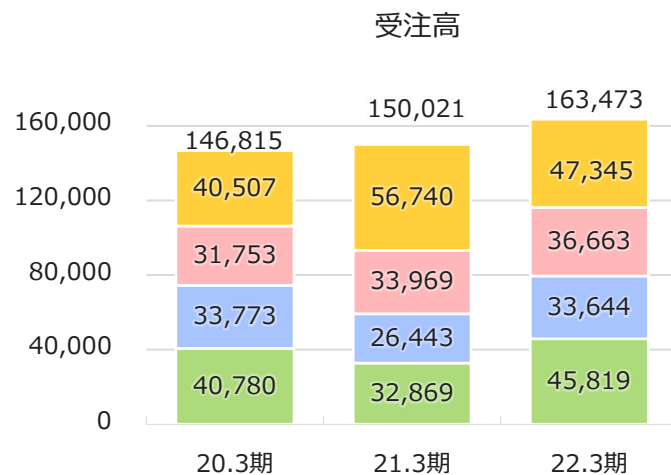
1. 2022年3月期 決算の概要

2022年3月期 業績

◎部材不足、物流遅延等あるも、堅調な需要に支えられ、受注・売上・各利益、いずれも過去最高を更新

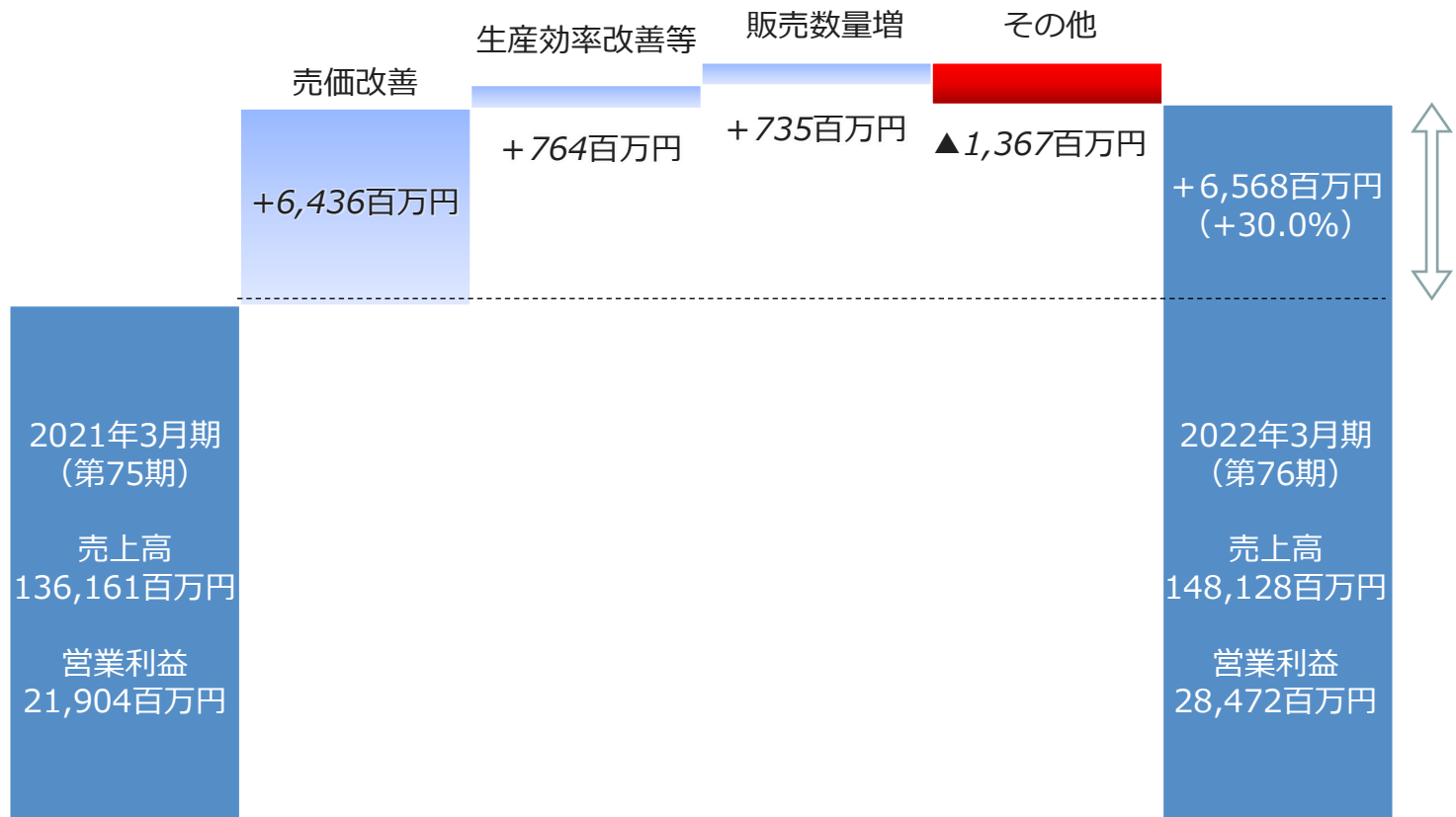
(百万円)

	21.3期 実績	22.3期 実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	150,021	163,473	+13,451	+9.0%
売上高	136,161	148,128	+11,966	+8.8%
営業利益	21,904	28,472	+6,568	+30.0%
経常利益	23,224	29,943	+6,718	+28.9%
当期純利益	17,167	21,188	+4,020	+23.4%

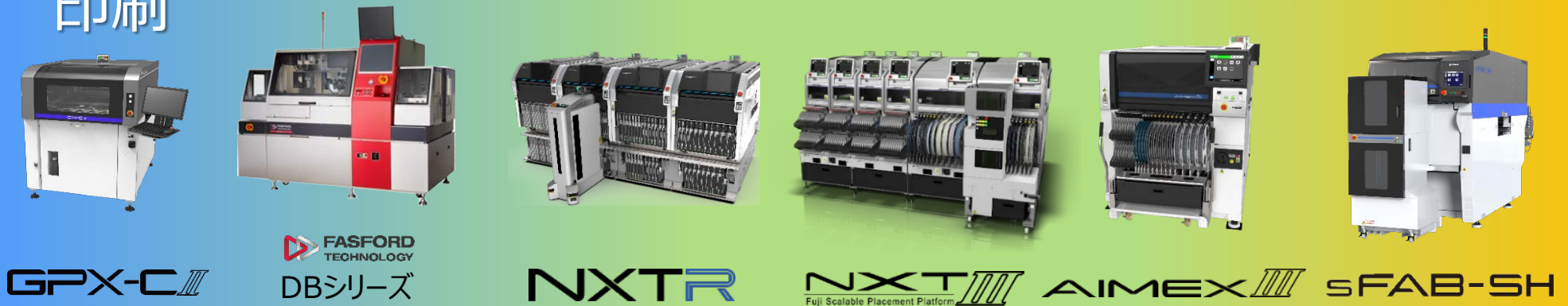
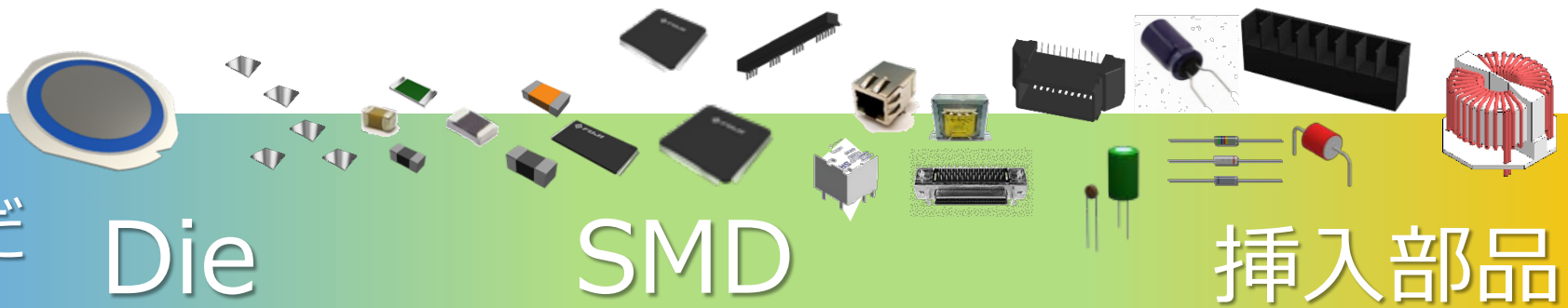


営業利益増減分析

◎ 主に売価の改善により、対前年同期比6,568百万円の営業利益増



ロボットソリューション事業



多関節ロボット



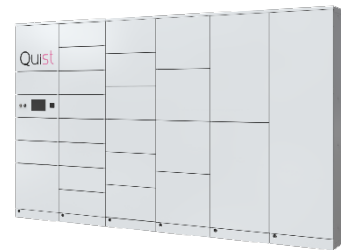
SW-BA

プラズマ処理装置



Tough Plasma

宅配ロッカーシステム



Quist

介護ロボット



Huq

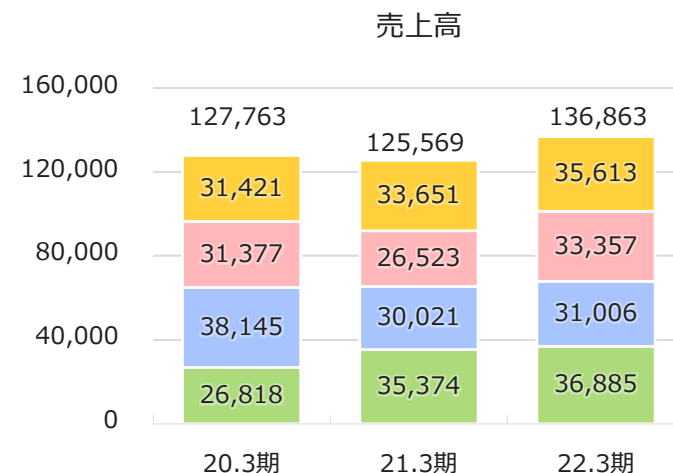
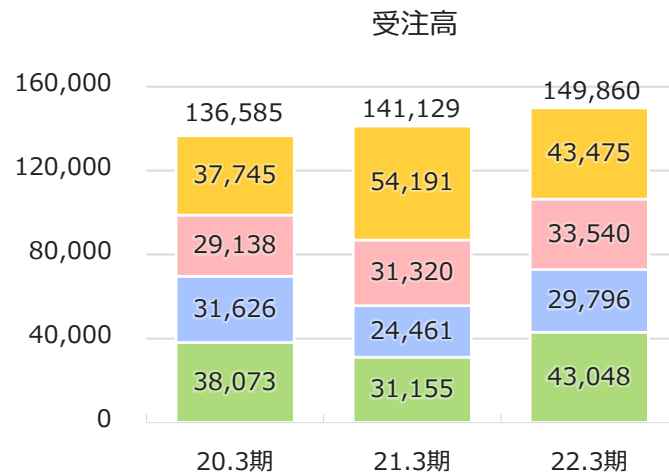
ロボットソリューション事業 業績

- ◎通信関連、サーバー等の底堅い設備投資に加え、欧米市場は車載関連が牽引
- ◎電子部品生産用の設備投資も引き続き順調に推移

(百万円)

	21.3期 実績	22.3期 実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	141,129	149,860	+8,731	+6.2%
売上高	125,569	136,863	+11,293	+9.0%
営業利益	26,307	32,617	+6,310	+24.0%
受注残高	44,300	57,298	+12,997	+29.3%

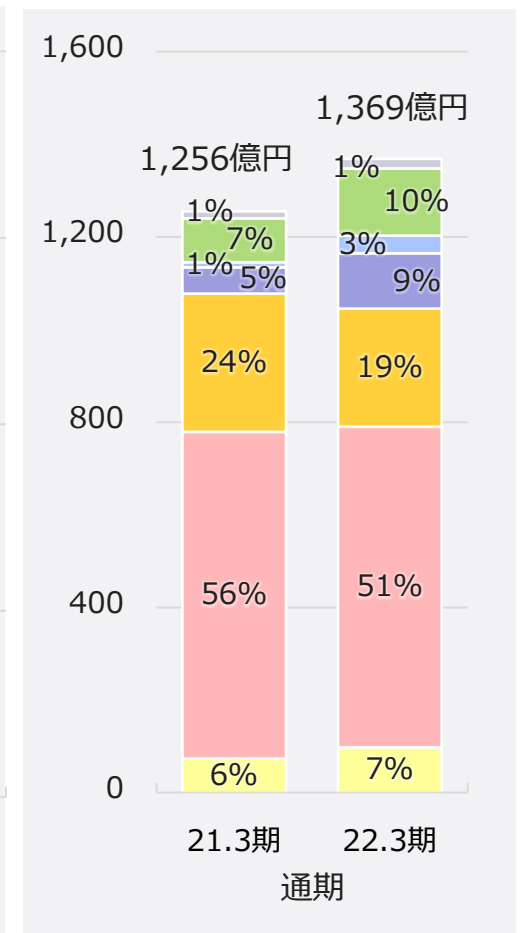
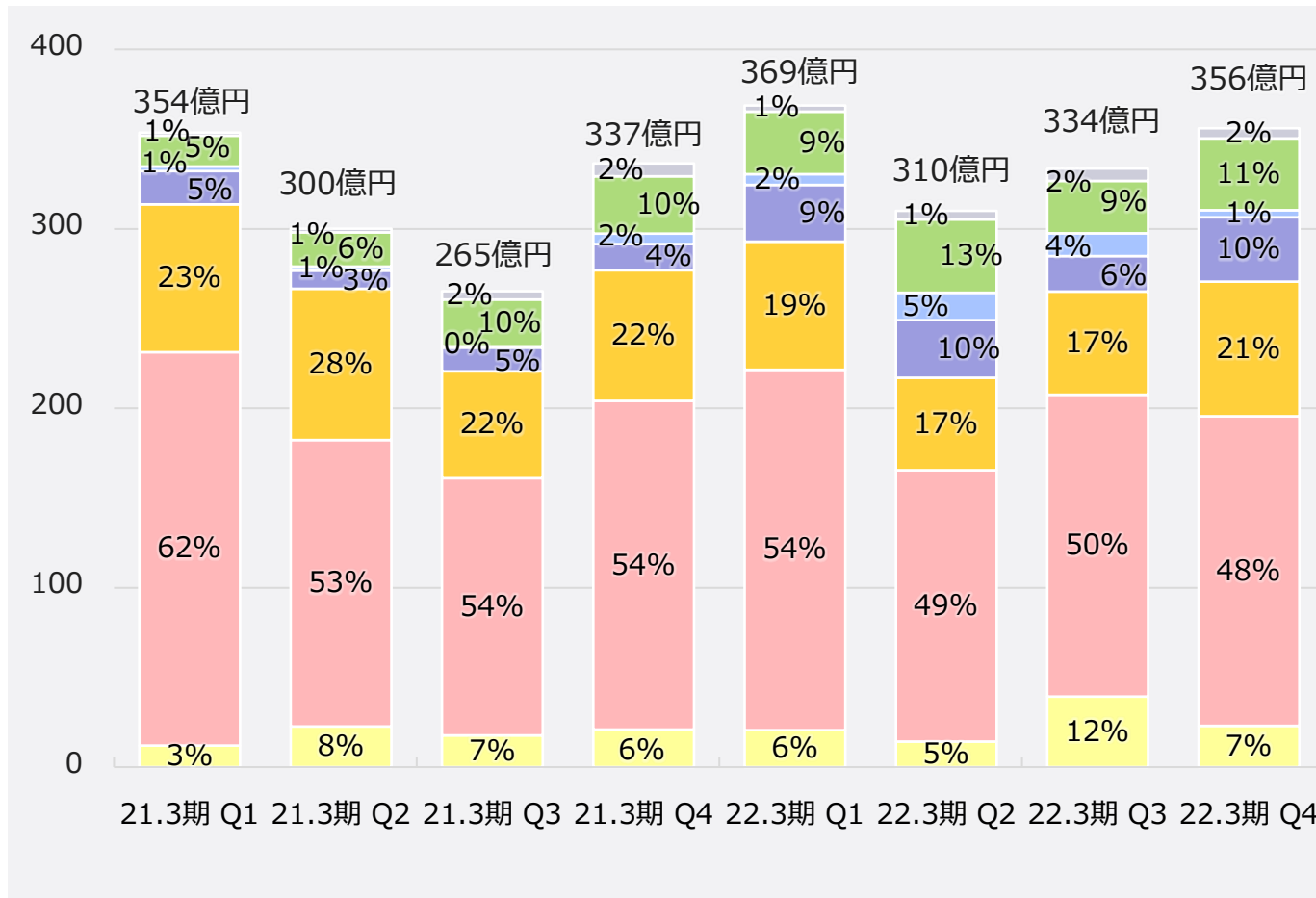
*受注残高につきましては、フジ マシン アジア プライベート リミテッドの連結開始時の受注残高を2021年3月期より遡及修正して含めております。



ロボットソリューション事業 地域別売上高

- ◎中国：スマホ及び周辺機器・パソコン関連が売上を牽引
- ◎欧米：車載関連を中心とする設備投資の伸長

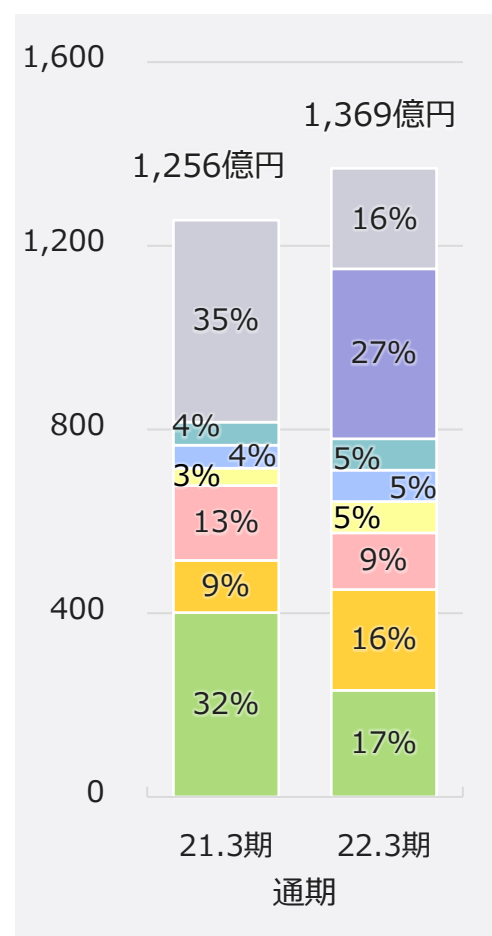
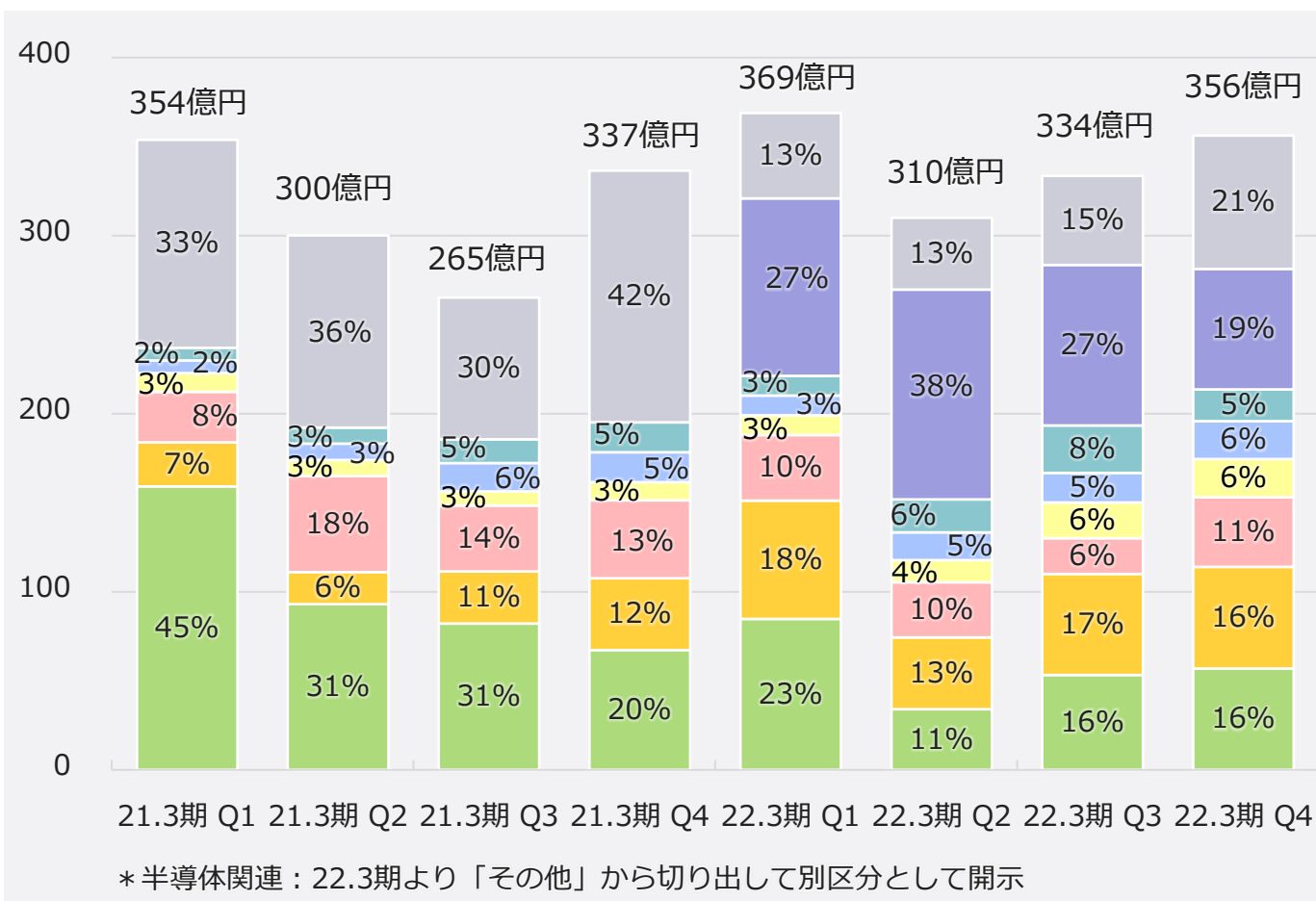
■ 日本
 ■ 中国
 ■ 他アジア
 ■ 米国
 ■ 他北米
 ■ ヨーロッパ
 ■ その他



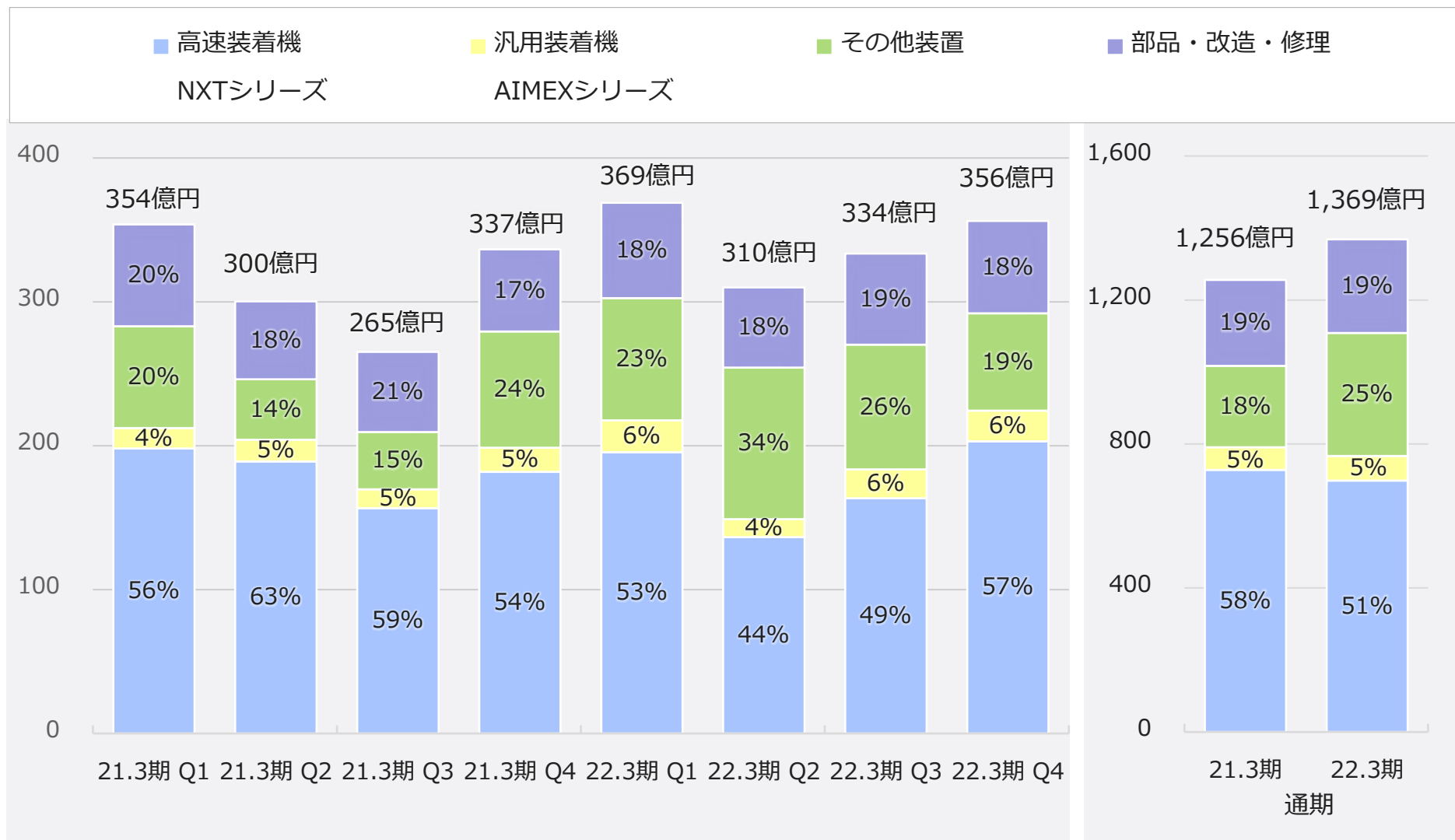
ロボットソリューション事業 業種別売上高

- ◎半導体関連：通期でファスフォードテクノロジー社の半導体製造装置が好調
- ◎車載：欧米向けのEV関連設備投資が好調

■ 通信 ■ 車載 ■ コンピュータ ■ サーバー ■ 家電 ■ 産業機械 ■ 半導体関連 ■ その他



ロボットソリューション事業 機種別売上高



マシンツール事業

正面2スピンドル旋盤

CS SERIES



横型NC旋盤

TNII SERIES



対向2スピンドル旋盤

AN SERIES



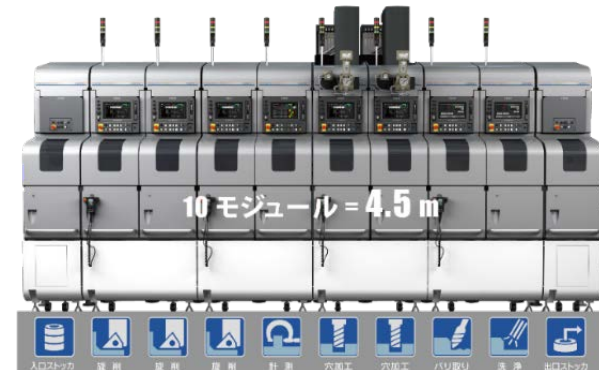
複合加工機

GYROFLEX



モジュール型生産設備

DLF_n

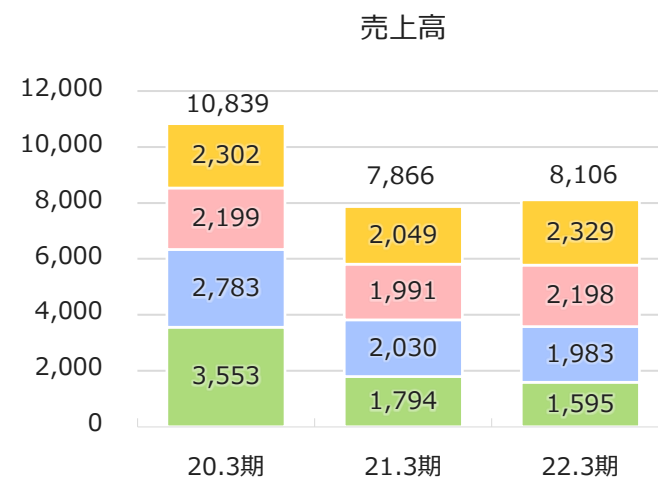
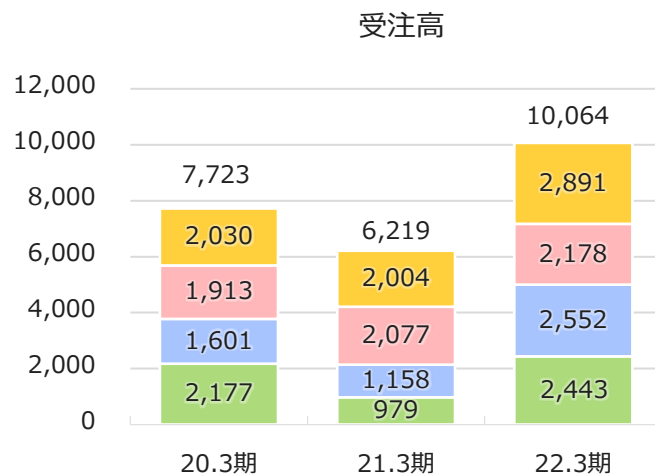


マシンツール事業 業績

◎北米・中国市場を中心に改善の兆しが見え始めるも、国内市場は軟調に推移

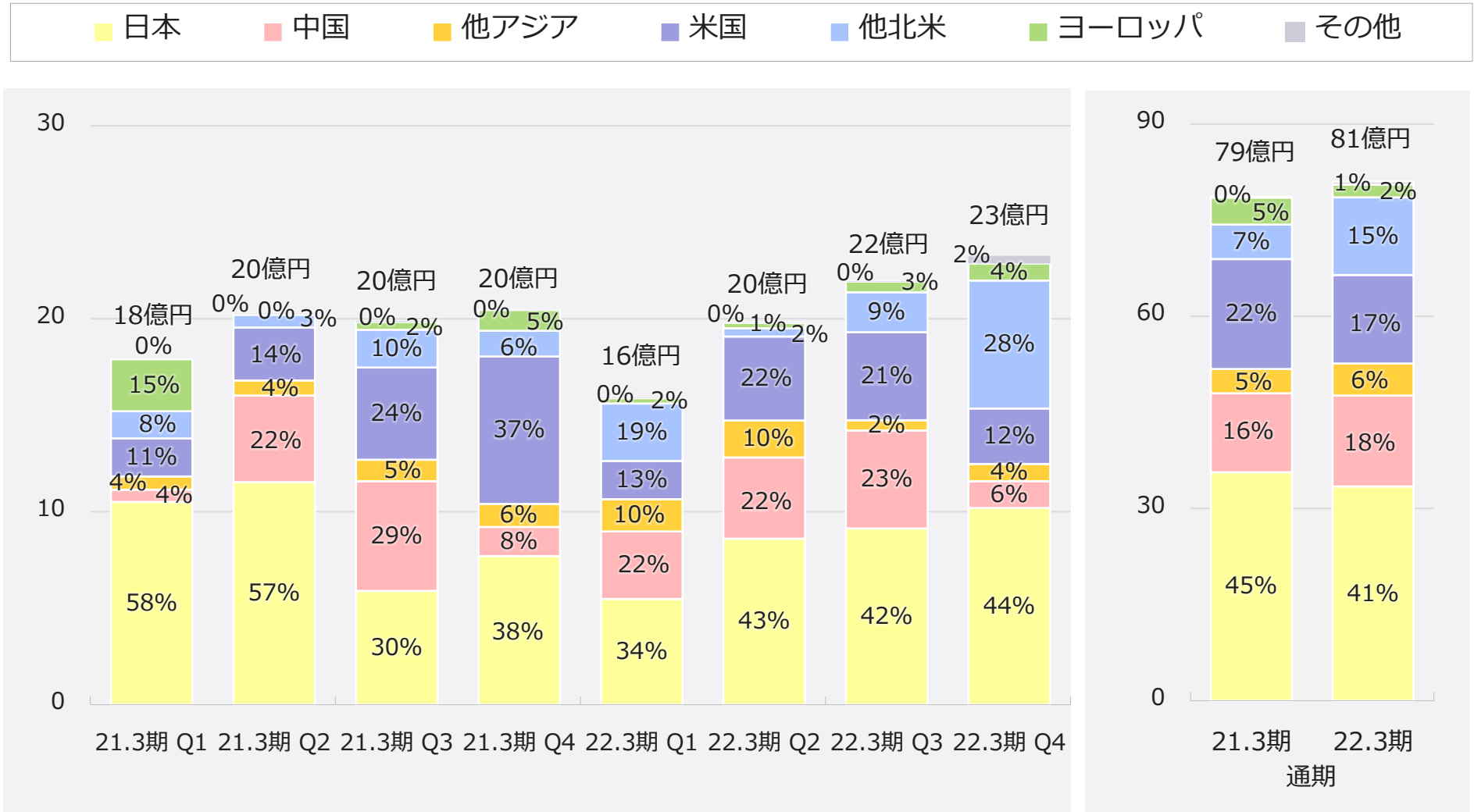
(百万円)

	21.3期 実績	22.3期 実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	6,219	10,064	+3,845	+61.8%
売上高	7,866	8,106	+239	+3.0%
営業利益	▲1,324	▲852	+472	-
受注残高	3,686	5,644	+1,958	+53.1%

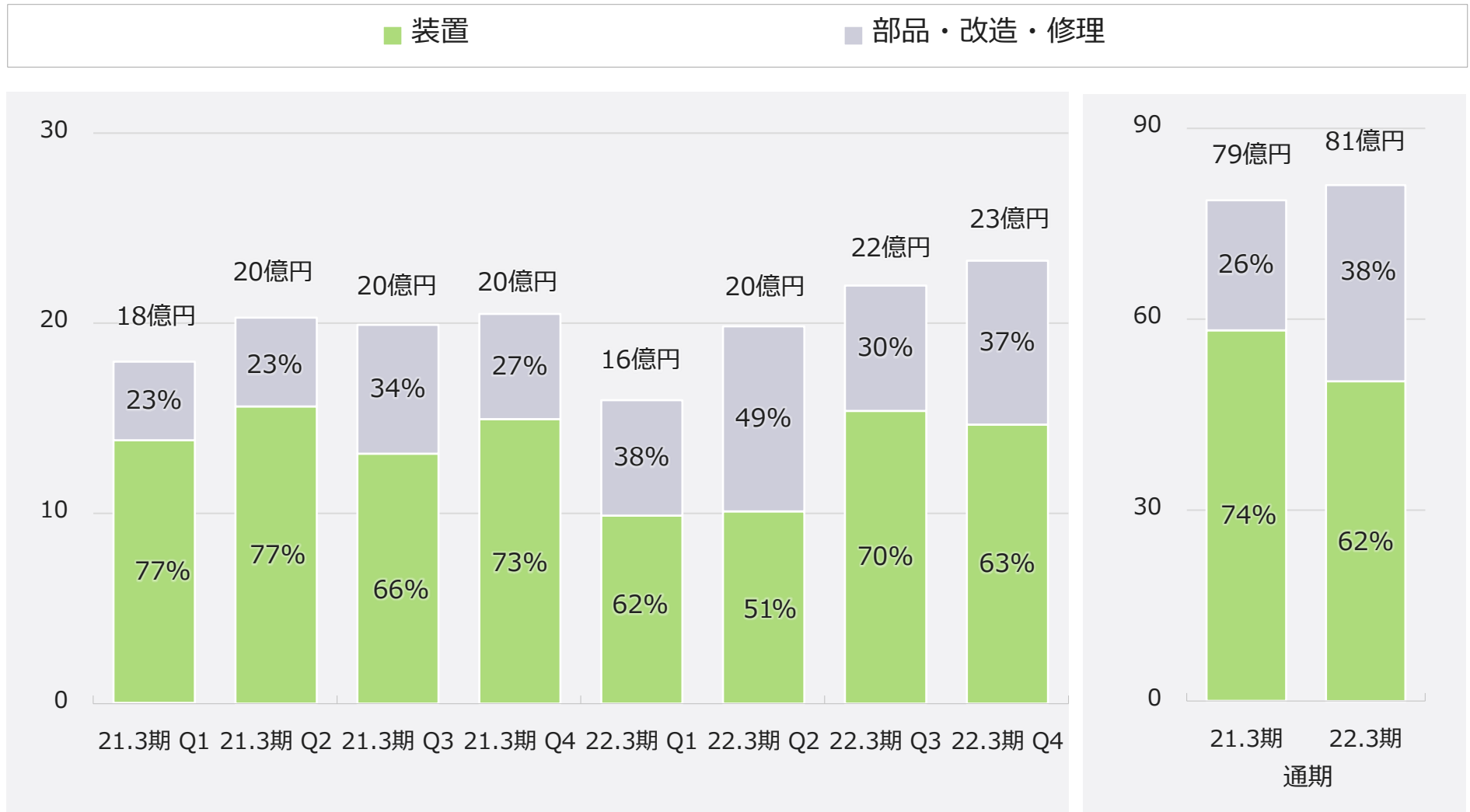


マシンツール事業 地域別売上高

◎国内外ともに、主力顧客である自動車産業の設備投資が慎重姿勢

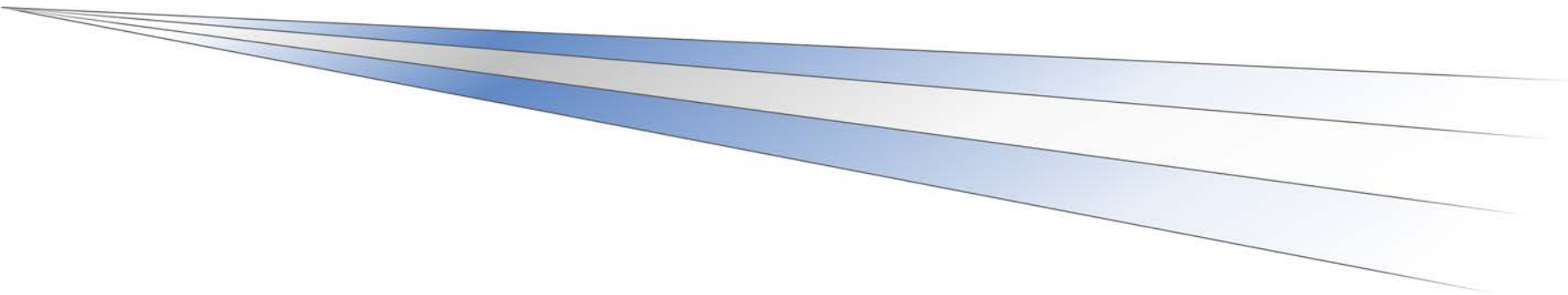


マシンツール事業 機種別売上高



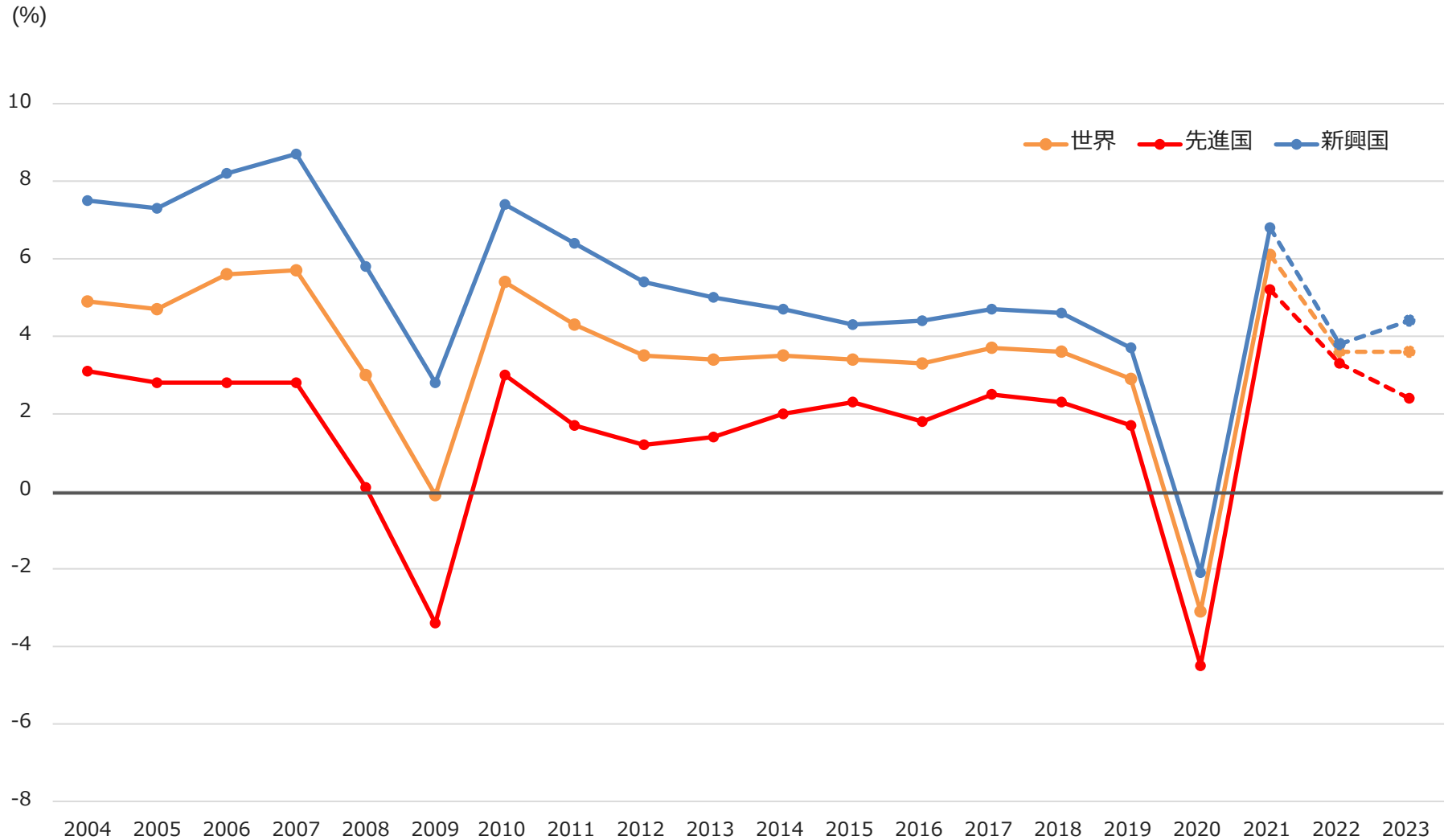


2. 2023年3月期 業績予想



世界の経済成長率

- ◎ ウクライナ問題、新型コロナ対策による影響から22年成長率予測を下方修正
- ◎ 燃料価格の高騰、サプライチェーン問題悪化、インフレ激化などの影響が懸念



出典 : IMF, World Economic Outlook, April 2022

業績予想

◎主に自動車、半導体関連における需要を背景に、電子部品実装ロボットを中心とする販売が堅調に推移する一方、原材料価格やエネルギー価格、物流費の高騰の増加が利益を若干押し下げる見通し。

(百万円)

	22.3期 通期実績	23.3期予想			
		上期予想	通期予想	対前期実績	
				増減額	増減率
受注高	163,473	73,000	153,000	▲10,473	▲6.4%
売上高	148,128	80,000	157,000	+8,871	+6.0%
営業利益	28,472	13,500	28,500	+27	+0.1%
営業利益率	19.2%	16.9%	18.2%	—	—
経常利益	29,943	13,600	28,700	▲1,243	▲4.2%
当期純利益	21,188	10,000	20,600	▲588	▲2.8%

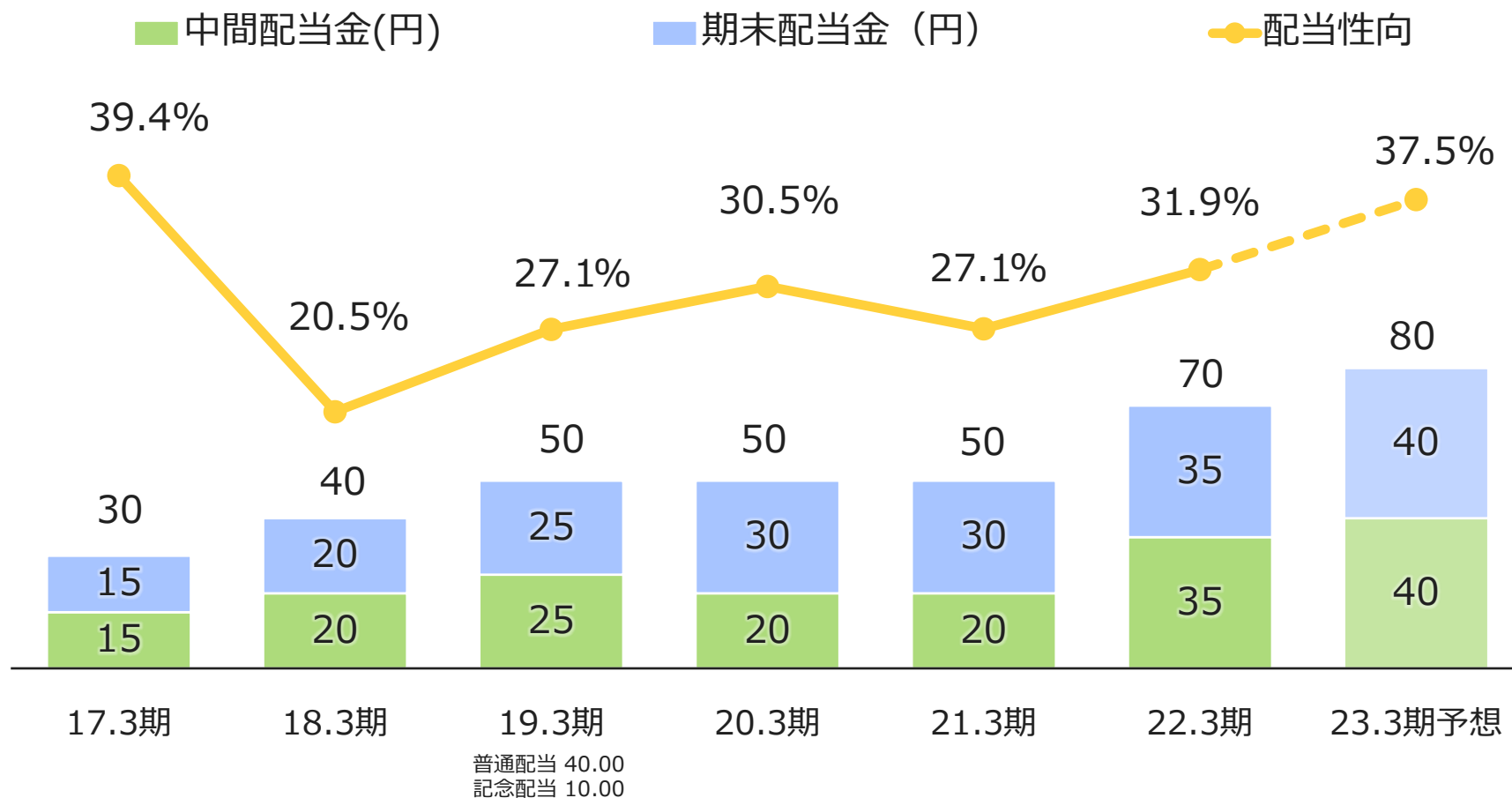
セグメント受注・売上予想

(百万円)

		22.3期 通期実績	23.3期予想			
			上期予想	通期予想		
				対前期実績		
				増減額	増減率	
ロボット ソリューション 事業	受注高	149,860	64,500	135,000	▲14,860	▲9.9%
	売上高	136,863	72,000	140,000	+3,136	+2.3%
	受注残	57,298	49,798	52,298	▲5,000	▲8.7%
マシンツール 事業	受注高	10,064	6,500	14,500	+4,435	+44.1%
	売上高	8,106	6,000	13,500	+5,393	+66.5%
	受注残	5,644	6,144	6,644	+1,000	+17.7%
その他 事業	受注高	3,547	2,000	3,500	▲47	▲1.4%
	売上高	3,159	2,000	3,500	+340	+10.8%
	受注残	649	649	649	±0	-
合計	受注高	163,473	73,000	153,000	▲10,473	▲6.4%
	売上高	148,128	80,000	157,000	+8,871	+6.0%
	受注残	63,592	56,592	59,592	▲4,000	▲6.3%

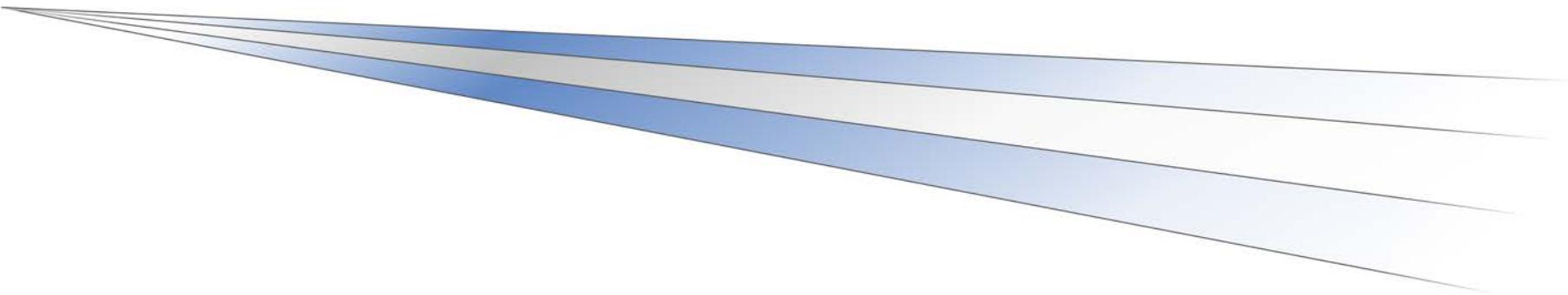
1株当たり年間配当金・配当性向

◎ 堅調な業績を踏まえ増配予定





3. トピックス



岡崎工場 新工場棟建設について





パソコン、スマートフォン、データセンター、自動車のEV化など、あらゆる産業において半導体や電子基板の需要が急速に高まっており、今後も継続した市場成長が見込まれます。同工場におけるマウンター製品の生産能力を増強する計画です。

所在地	愛知県岡崎市
総工費	約100億円
延床面積	32,500m ² (4階建)
建築計画	2022年11月着工 2024年9月操業予定
生産品目	電子部品実装ロボット及び周辺機器
導入設備	多関節ロボット・自動搬送ロボット・ ロボット倉庫・屋内測位技術 統合生産管理システム



サステナビリティ推進にむけて

2018年2月、企業価値向上に向けて働きがいのある会社、併せてブランド力の強化を狙い、「企業価値向上委員会」を発足し活動しておりましたが、サステナビリティの視点を踏まえた経営を促進するため、2022年4月、「サステナビリティ推進委員会」へ名称を変更し体制を一新しました。

企業ブランディング、技術革新、環境対応、社会貢献、従業員エンゲージメントなどのサステナビリティに関する取り組みについて議論・決定し、スピーディーに各部門や子会社へ展開していきます。

また、株式市場区分の見直しに伴い、弊社は東京証券取引所プライム市場へ移行しています。引き続きステークホルダーの皆さまのご期待に添えるよう、企業価値のさらなる向上に取り組んでまいります。



TCFDに基づく情報開示に向けて



TCFDとは、金融安定理事会（FSB）により設立された気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）の略称で、企業等に対し気候変動関連リスクおよび機会に関する開示を推奨しています。

FUJIは気候変動対応における「ガバナンス」、「戦略」、「リスク管理」、「指標と目標」について調査、分析等を進め、情報開示に向けて取り組んでいます。

人道支援寄付 / ソーシャルボンドへの投資



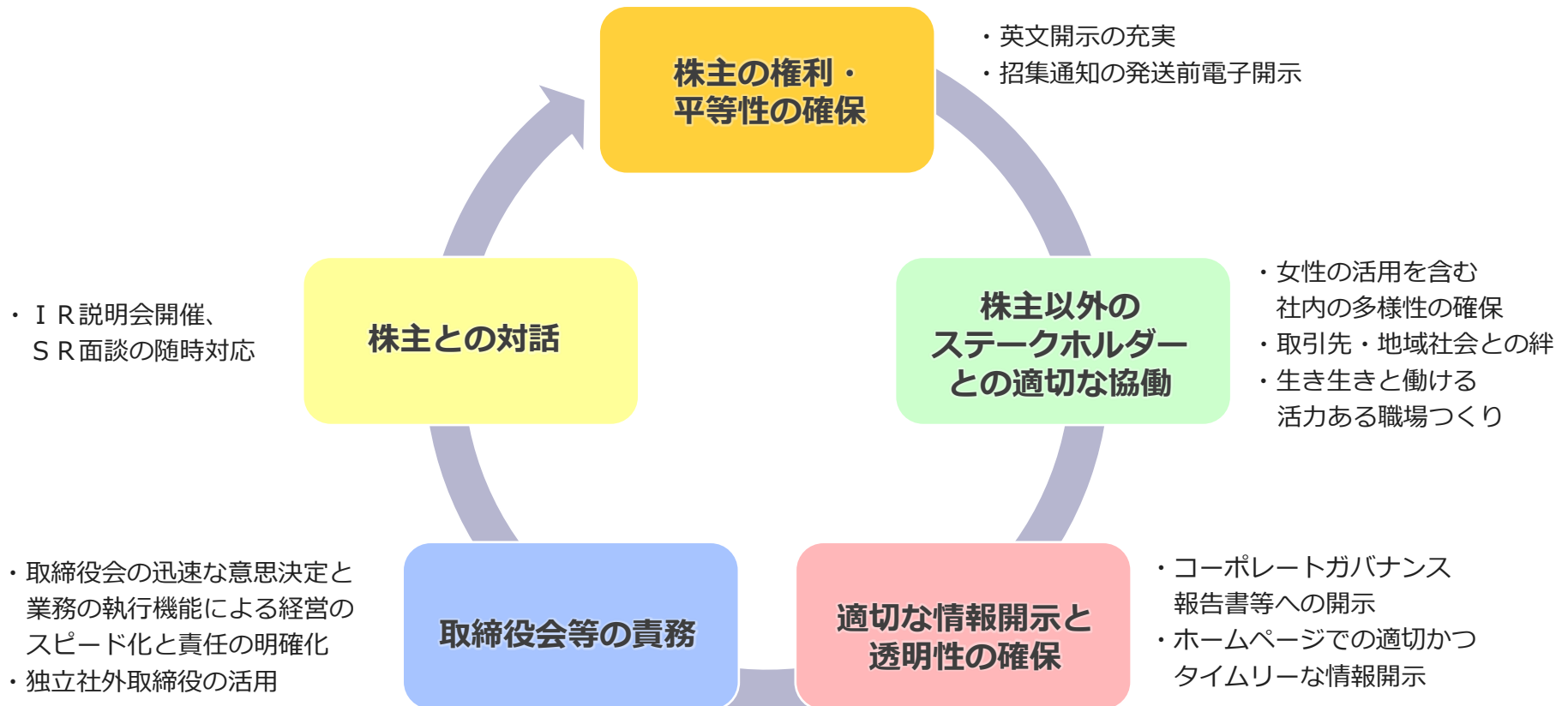
ウクライナ情勢悪化に伴う人道危機への支援のため、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）に2,000万円を寄付しました。ウクライナおよびその周辺地域で困難な状況に直面されている方々を支援するための人道的な活動に役立てられます。

資産運用を通じた社会貢献・SDGsへの取り組みとして、グリーンボンドやソーシャルボンドへの投資も行っており、中部国際空港株式会社が発行する「第10回社債(一般担保付)（ソーシャルボンド）」への投資を実施しました。

これからも持続可能な社会の形成に向けた活動を通じて、社会の公器としての責任を果たしてまいります。

コーポレートガバナンス・コード

当社はコーポレートガバナンス・コードを踏まえて、
企業価値の向上を目指してまいります。





【本資料お取り扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる場合があります。

